

未組織職場における会計年度任用職員の組織化

1. 自治労連の3Tアクションの取り組み

- ・自治労連として全国的に2万を大きく超える、ほこイカアンケートの実施
- ・未組織職場でも配布回収。2~3割が返送
- ・自由記載欄にも、本音がびっしり。名前・連絡先の記入もいくつか。

2. この違いは何だろう？

- ・新潟の特別支援学級支援員の組織化の例
- ・栃木の壬生町の例
- ・その他は、呼びかけから懇談会参加まで外人部隊。
- ・集まっても継続できなかったところは、次回集まる目的や必要性を示せず。

3. 気がついた教訓はなにか？どうするか？

・教訓は、上からの投網をかける組織化は成功しない。現場のつながりを生かした取り組み、現場から作る取り組みが重要。

- ・新潟では
- ・群馬・栃木
- ・各自治体の活動家に集ってもらい、会計年度任用職員の組織化の重要性を。
- ・取り組み方はアンケートの取り組みを基本としつつ、現場、現場で全く違う。
- ・現場にあったやりやすい取り組みから始める。

4. 集めるための具体的な事例

(1)前橋市

(2)新潟県阿賀野市

5. 懇談会を続ける重要性。

(1)栃木県壬生町の例

(2)群馬県高崎市の例

(3)新潟市の例

(4)甲府市の例